

令和3年度 調布市立第五中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
「徳」思いやりと助け合う心をもとう。「知」自ら学ぶ人になろう。「体」心と体を鍛えよう。	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像、教員像、児童・生徒像	
生徒一人一人に居場所があり、安心・安全で自分の力を伸ばせる学校	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	生徒の在籍数は「命の数」である。生徒一人一人の命に「生きる力」を育むことが、調布市立学校の使命と捉えているからである。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・目的・意志をもって学習に臨む姿勢 ・基礎・基本の定着 ・既習事項を日常生活の中で活用する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとの目標を明示し、生徒に見通しをもたせる。 ・小テストなどを定期的に実施、段階的に基礎力をはぐくませる。 ・読解力を向上させるべく、読みとるべき内容とその方法を明確に示す。 ・話し合い活動により、情報や知識を共有できる授業を展開する。
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ぶ姿勢、社会に参画する態度 ・基礎・基本的な知識・技能の定着 ・社会的な事象に対して、自らの思考をまとめ、判断し、表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間のめあてを明らかにし、振り返りを行う。 ・小テストや中テストの実施、家庭学習の定着のためにワークを活用。 ・話し合い活動、レポートの作成を行い、言語活動の充実を図る。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ぶ姿勢 ・基礎・基本的な計算力の定着 ・日常生活に数学を活用する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを提示・確認する。 ・授業内容の振り返りを毎時行う。 ・演習問題を増やすことで、計算力の定着を図る。 ・日常生活の問題を取り上げることで、数学を活用する力を伸ばす。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ぶ姿勢 ・基礎、基本的な知識と技能の定着 ・科学的な事象に対して、自らの思考をまとめ、判断し、表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ごとの目標を明示し、見通しをもって取り組ませる。 ・授業内容の振り返りを行い、知識を定着させる。 ・グループワーク、実験、観察、レポートの作成を行い、生徒が主体的に学ぶ時間の充実を図る。 ・環境問題や日常での話題に触れ、学びを生活に生かす。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・表現力の向上 ・自主的な学習 ・主体的な学び ・多領域にわたるバランスのよい学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫ある授業の中での全体及び個人に対する呼びかけ ・テーマを明確にして、学習しやすい環境を作る。 ・自ら深めていこうという思いがもてる学習形式、指導 ・時間を有効に使い、充実した学習の確保 <p>★事前の準備や研究を日々続けています。</p>
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら楽しく表現活動に取り組むことにより、表現力の向上を身に付けさせる。 ・意欲的、主体的に表現活動に取り組む態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な題材に取り組むことで、生徒に興味関心を持たせる。 ・表現方法の多様さを知り、表現方法の技術を学ぶことにより表現能力を伸ばす。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・目的意識をもって、目標に向かって努力する姿勢を身に付けさせる。 ・主体的に運動に親しむ態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の目標の明確化 ・「できた」という達成感を毎時間味わうことができるよう、一人一人への声掛けを増やす。
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの生活とつなげ主体的に学ぶ姿勢を身につけさせる。 ・ものづくりを通して、創造する力と技術力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的、基本的な知識や技能の定着を図る。 ・ICTを活用するなど、思考力、判断力、表現力の場面を増やす。

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
英語	<p>聞くこと：身近なことに関する話や指示を理解することができる力</p> <p>読むこと：簡単な物語や身近なことに関する文章を理解することができる力</p> <p>話すこと：身近なことについて簡単なやりとりをすることができ、準備をすれば、スピーチやパフォーマンスをすることができる力</p> <p>書くこと：自分のことや身近なことについて、まとまりのある文章を書くことができる力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帯活動等を通して、基礎基本を定着させる。 ・ ペア・グループ学習を通して、良い表現を生徒同士が学びあう機会を増やす。 ・ ペア・グループ学習において、個々に役割を与えて学習させることで、学習に粘り強く取り組む姿勢を身に着けさせる。 ・ 発表前には繰り返し準備・練習の時間をとり、自信をもつてパフォーマンスに取り組めるように授業を計画する。
道徳科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考える学習を通して、道徳的な判断力。心情、実践意欲と態度を育てる。 ・ 集団や社会の一員として主体的に生きる意欲を高め、思いやりのある心をもって生活する態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材、ワークシート、板書のユニバーサルデザインの工夫を行う。 ・ 自己理解や他者理解を深める学習を展開し、自己の生き方や人権について深く考えることのできる力を養う。 ・ 学校や家庭の日常生活の中で、自ら考えを深めていくことができ、社会に繋げる力を養う。